



2021年3月1日

各 位

三重県保険医協会

## 運動の取り組みについて

1月28日、衆議院第2議員会館で「『ストップ！負担増』署名提出集会」が開催された。参加者は、国会で45人、オンラインで全国19か所から約55人、計100人が参加。三重協会からは、宮崎会長、鶴飼・梅村各副会長がオンラインで視聴参加した。

なお同日には、全国から集まった17万2833筆の署名を国会議員に提出した。

1都2府8県に緊急事態宣言下で今年初めての署名提出集会に梅村副会長と一緒にWEB参加した。全国から19協会100人国会議員16人の参加であった。

通常国会が開催され来年度予算の内容が議論されている。新型コロナ禍で国民生活が苦しくなる中、政府は相変わらず社会保障削減に躍起である。今回の集会のメインは75歳以上の患者窓口負担2割化阻止。単身世帯年収200万円以上の人を対象にしているが、これを許すと対象がさらに拡大していく可能性は高い。政府は「若い世代の負担軽減」を理由にしているが、今までに減らし続けてきた後期高齢者医療制度国庫負担割合を増やすのが筋ではないだろうか。誰も歳をとれば若いころのようにいかない。いくつもの医療機関を受診している人がほとんどである。年金支給額が減額され、さらに新型コロナ禍が続く中、新たな負担増は、高齢者の受診抑制と疾病重症化を招くことは間違いない。負担増阻止は喫緊の課題である。まだまだ運動は続くので、署名運動や集会参加、クイズチラシの取り組みなど会員の皆さんのご協力をぜひお願いしたい。

(三重県保険医協会副会長・鶴飼伸)

以 上